

新学期になり一年生が
身の回りの植物を調べはじめました
新緑の時期にたくさん植物の本を集めると
毎年メディアセンターも新学期の躍動感に包まれます



■ 今月の新着図書から ■



『正解のない教室』 分類 002
平山美希 / WAVE 出版

何を目的に、何を知り、どうやって考えればいいのか。私たちが自由に生きていくための方法を学ぶのが「リベラルアーツ」。けしてハウツーではない自分の軸となる学び方を知ろう。



『手塚治の歴史教室』 分類 210
手塚治虫 / いそづ社

漫画『火の鳥』『弁慶』『アドルフに告ぐ』など、歴史を題材とした作品も多く手がけた手塚治虫。その作品には王権の歴史や勝者の歴史ではなく、敗者も含めたあらゆる者の視点がこめられています。



『サボテンはすごい!』 分類 479
堀部貴紀 / ベレ出版

サボテンのすごさが凝縮(ぎょうしゅく)された一冊ですが、前半は専門的な話なので、4 章あたりから読み、最初に戻ることをおすすめします。形だけではない魅力が満載!



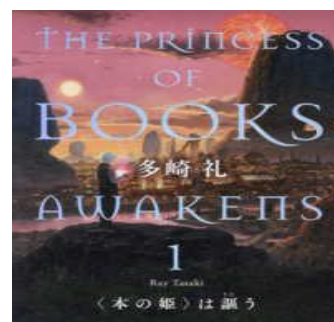
『おしごとそうだんセンター』 分類 726
ヨシタケシンスケ / 集英社

「こんなおしごとがあったらいいな」という仕事が 44 も紹介されています。ヨシタケさんの想像力はすごい!でも単なるお仕事紹介本ではありません。すでに働いている大人にも響く言葉がいっぱいでした。



『虎と兎』 分類 913
吉川 永青 / 朝日新聞出版社

白虎隊(びゃっこたい)の生き残りである虎太郎は、アメリカに渡る。そこで偶然インディアンの娘を助け、部族の元に戻すことに。白人に迫害されるアメリカ先住民と、会津藩に迫害された人々とが重なる。



『本の姫は歌う』 分類 913
多崎礼 / 講談社

世界に散らばった邪悪な文字を回収しながら旅をする本に宿った姫と、自分ではない別の人の記憶をもつ少年の物語。ファンタジーと SF が混じったような物語。『レーエンデ国』シリーズよりも少しラノベ風です。

SSH&ISS チャレンジ研究論文集

雑誌棚の上に、本校の「SGH,SSH,ISS チャレンジ」の研究論文集を置いていますが、その右側に「他校の SGH、SSH の研究論文集」も置きました。

研究テーマの参考として、ぜひ他校の研究事例も読んでみてください！



★移動しました★

「ISS 生特別入試報告書」はカウンター横検索機の右手になりました！



「LGBTQ+ 多様な性のありかたを理解する本」展示

4 月に東京レインボープライドが、LGBTQ+当事者とその支援者と共に「性と生の多様性」を祝福するイベントを今年も開催しました。

それにあわせ、館内でも関連図書を展示中。ノンフィクションだけではなく、LGBTQ を扱った小説も並べました！

今月の館内展示

「国内、国外の子ども支援活動」図書展示

5 年生の英語のテキストにあわせ、国内外の子どもたちを支援する活動団体関連の資料を並べています！教育、食料支援はもちろん、児童労働から保護する活動や国内では子ども食堂など様々。



本棚 新学期になると、学校図書館にはたくさんの出版カタログが届きます。「この本、面白そうだな」「こういう本は蔵書にはなかったな」など、カタログを眺めるのも仕事のひとつです。でも司書として本屋さんへ行き、直接本を眺めて確認する時間も大切になっています。「図解があればもっとよかったのに...」「漢字にルビもあってわかりやすいな」など、カタログを見ていただけではわからない気づきもあれば、カタログにはなかった面白そうな本との出会いもあるからです。学校図書館は小学生には小学生向き、中学生には中学生向き、高校生には高校生向きの本を選書します。その点では年齢に応じた専門図書館のようなのだと、先輩の司書さんに言われた言葉を、この時期になると思い出します(渡)